

第7回
球磨川流域治水協議会
説明資料

その他情報提供

令和5年6月6日

<流域治水に係る地方行政担当者向け意見交換会>

- 流域治水の最新動向について情報提供及び先行河川の事例を参考に、流域治水に携わる各担当者のスキルの底上げを図ることを目的に、「流域治水に係る地方行政担当者向け意見交換会」を開催（R5年6月2日）
- 流域治水を推進していく上での課題を関係者で共有したうえで、解決に向けた議論を実施

- 開催日：令和5年6月2日（金） 10時～
- 場 所：九州ビル（福岡市博多区）
- 参加者：Web併用方式（約300名参加）
国土交通本省（水管理・国土保全局、都市局、住宅局）、
農林水産省（本省）、林野庁（本庁）
九州地方整備局、九州農政局、九州森林管理局、
九州管内河川関係事務所、九州各県及び自治体担当者
- 主な議事内容
 - ・全国での先進事例・施策に関する情報共有
 - ・六角川特定都市河川指定にむけた取組報告（佐賀県、武雄市）
 - ・久留米市における流域治水の取組 等



意見交換会の開催状況

<流域治水のさらなる全国的な展開に向けて>

- 流域治水の取組に関するさらなる普及・広報を行うことで、流域治水の意義、重要性に多雨する理解と協力を求める働きかけを全国的に展開し、取組の好循環を図る。

<流域治水オフィシャルサポーター制度の創設 令和5年3月28日～>

流域治水の取組を、企業、団体等の多様な関係者とともに幅広く周知するとともに、流域治水に資する取組を促進するため、流域治水オフィシャルサポーター制度を創設。流域治水の推進に取り組む企業等をオフィシャルサポーターとして認定し、その取組を国土交通省ウェブサイト等で紹介

<ロゴマークの活用>

地域住民・企業等に親しみを持ってもらうことを目的に「流域治水」ロゴマークを策定予定

○令和5年2月27日、九州河川協力団体連絡会と九州地方整備局は、住民と行政の双方の立場から、今後の気候変動による水災害リスクの更なる増大が予測されている中で、水害の激甚化・頻発化に対応するための「流域治水」を強力に推進していくため、**全国初となる『流域治水の推進へ』への協働宣言**を行いました。

開催日：令和5年2月27日(月)

場 所：博多第五借成ビル

(オンライン併用)

参加者：九州河川協力団体(36団体90名)

整備局・関係事務所

(藤巻局長、島本河川部長、他95名)



中村代表
(九州河川協力団体連絡会議)



藤巻局長
(九州地方整備局)



金尾相談役
(九州河川協力団体連絡会議)

『流域治水の推進へ』
協働宣言

九州地方では、これまでも災害と闘いながらも川の恵みを受け生活に潤いと産業経済の礎となって流域の歴史が育まれてきました。

しかしながら、地球温暖化により豪雨の頻発や台風の強大化などが考えられ、これまで以上に生活や経済活動、自然環境への大きな影響が想像されています。

この進んでいく温暖化に立ち向かうとともに、流域の豊かな自然環境・恵みが今後とも育まれるよう、流域のあらゆる関係者により様々な取り組みを推進するため、九州河川協力団体連絡会議と九州地方整備局が一丸となり啓発など協働していくことをここに宣言します。

令和5年2月27日
九州河川協力団体連絡会議代表
中村周二
九州地方整備局長
藤巻浩之



流域治水の推進に向けた協働宣言



意見交換会の状況



集合写真

日時：2023.5.13(土) 11:00-19:00
 会場：中川原公園～人吉市街地
 主催：球磨川・人吉地区かわまちづくり社会実験実行委員会
 球磨川・人吉地区かわまちづくり協議会
 球磨川・人吉地区かわまちづくり実行委員会

「かわまちづくり」とは

地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、地域活性化や観光振興などを目的に、市町村や民間事業者、地域住民等と河川管理者が各々の取組みを連携することにより「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間を形成し、河川空間を活かして地域の賑わい創出を目指す取組です。



▲まちなかエリア



▲国交省ブース



▲休憩エリア



▲水上アクティビティ



▲チラシ



▲焼酎フェス



▲ライトアップ

球磨川流域を1つのキャンパスと位置づけ、球磨川流域の**魅力ある自然や恵みを生かした様々な「学び」「研究」「交流」の場を創出**することで、**若者が“残り” “集まる”魅力あふれる地域の実現**を目指す。

最先端治水研究

地域課題の解決

◆ 産学官民の連携



- 民間企業、熊本県立大学、相良村、民間団体、等が連携し、湿地保全活動を実施。今後、湿地を活用した治水研究を予定。

◆ 大学間の連携



- 東京大学先端科学技術研究センターと熊本県立大学が連携に向けた協議や現地視察を実施。

◆ 「ひごラボ」による地域課題の解決



- 「ひごラボ」と熊本県立大学緑の流域治水研究室が連携し、緑の流域治水と産業創生に係るワークショップを開催
- ひごラボの取組みにより地域課題と課題解決の提案とのマッチングが22件成立

◆ 球磨村復興未来トーク



- 大学コンソーシアム熊本が主催する地域課題解決のための政策アイデアコンテストで球磨村をテーマに発表した学生と、球磨村の若手職員が「村が目指す方向性」について意見交換を実施

◆ 人吉高校における新たな学びの創出



- 人吉高校では、熊本県立大学が開校している球磨川流域圏バーチャルキャンパスの全17講座を1年生全員が受講
- 特別授業として熊本県立大学柴田教授による対面での講義も実施

“学び・交流”の場の創出

◆ 大学における活動



- 球磨川流域でのフィールドワーク等を通して検討したまちづくりや観光振興のアイデアを、熊本県立大学は人吉市に、尚綱大学は球磨村に提案
- 熊本大学では前年度に演習で学んだ球磨焼酎振興をサークル活動で継続し、球磨焼酎酒造組合と連携したガラチョココンパやイベントを開催

◆ 緑の流域治水勉強会



- 県職員を対象に勉強会を開催し、国、企業、大学関係者等も参加。
- 球磨川流域での現地視察も実施。

1. 整備概要

- (1) 建設箇所: 県庁行政棟新館北側エリア
- (2) 構造: 鉄筋コンクリート造(免震構造)
- (3) 階数: 地下1階、地上7階
- (4) 延べ面積: 9,970㎡
(内訳) 県央広域本部: 7,333㎡ / 防災センター: 2,637㎡ (平常時共用会議室除く)
(大規模災害時: 6,648㎡)

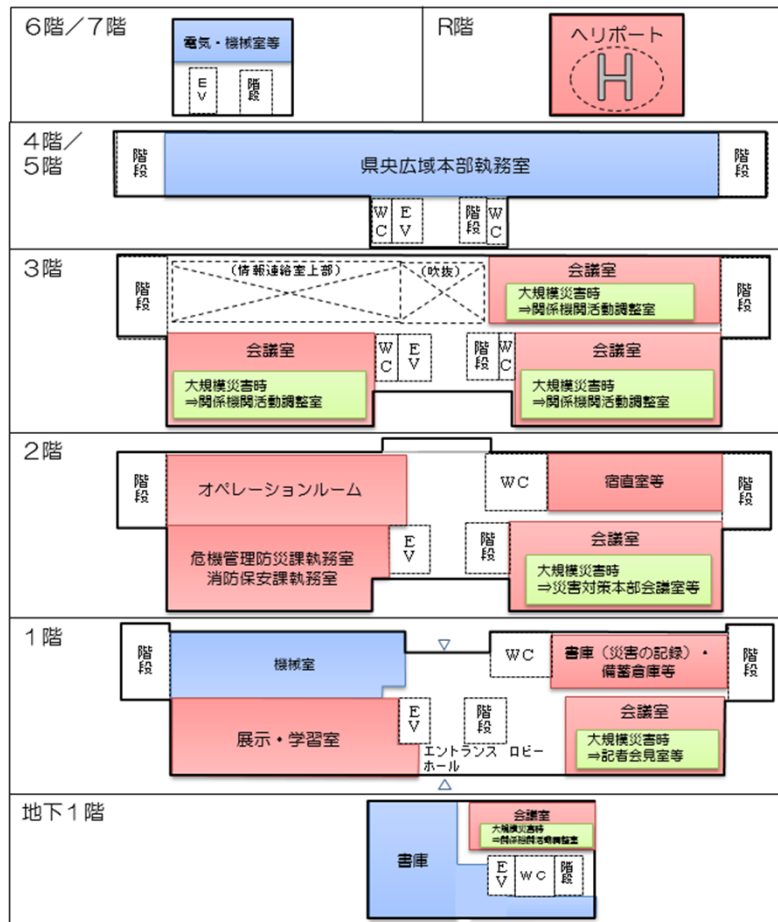
2. 熊本地震及び令和2年7月豪雨を踏まえた防災センター整備のポイント

- (1) 建物の耐震性能の向上 (建築基準法の耐震基準の1.5倍の耐震性)
- (2) 低層階に災害対策本部やオペレーションルーム等の主要な指令機能を配置
- (3) 防災センター災害対応スペース
現状 2,039㎡ ⇒ 整備後 **大規模災害時: 6,648㎡ (3.3倍) ※配置図赤色部分**
 - ① オペレーションルーム(2階)については、自衛隊・警察等の活動部隊等に加え、電気・ガス等のライフライン事業者等を配置できるよう拡充
(現状 151㎡・62席 → 整備後 433㎡・130席)
 - ② 政府現地対策本部や緊急消防援助隊、自衛隊等の応援機関の専用活動室を新設(3階)

【防災センター展示・学習室】

- ① 熊本地震や令和2年7月豪雨など自然災害の記録
 - ② 災害発生メカニズム
 - ③ 防災の取組 など
- パネルやプロジェクションマッピング、VRなどで学習
- 開館: 平日 午前9時午後5時
閉館: 閉庁日(土日祝、年末年始)
入館: 無料

◇各階配置図



◇防災センター外観



展示・学習室



オペレーションルーム

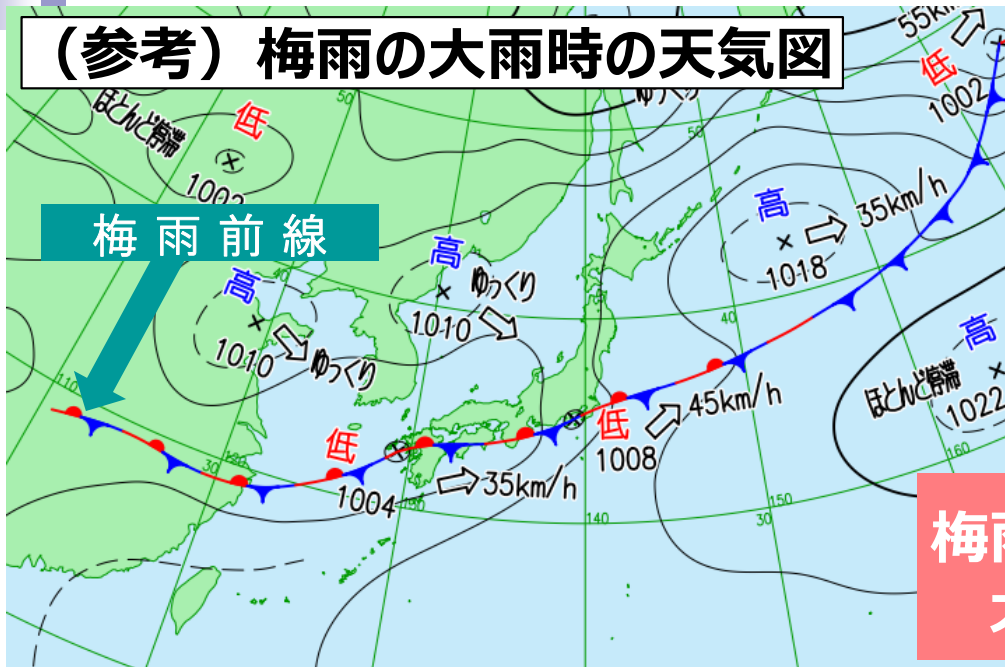


今年の梅雨の見通し 今年度の改善事項について

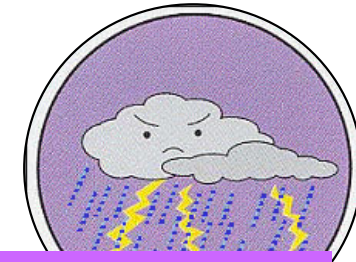
令和5年6月6日
熊本地方気象台

1. 今年の梅雨の見通しについて
2. 今年度の改善事項について
 - ・線状降水帯に関する情報

(参考) 梅雨の大雨時の天気図



令和2年7月4日03時の地上天気図
(令和2年7月豪雨)



雷雨が発生しやすい

4月

5月

6月

7月

8月

9月

高気圧と低気圧が
交互に通過
天気は周期変化

九州南部
梅雨入り

前線や低気圧

太平洋高気圧

台風の上陸・接近が多い

沖縄・奄美
梅雨入り

九州北部梅雨入り

平年の梅雨期間（九州北部）

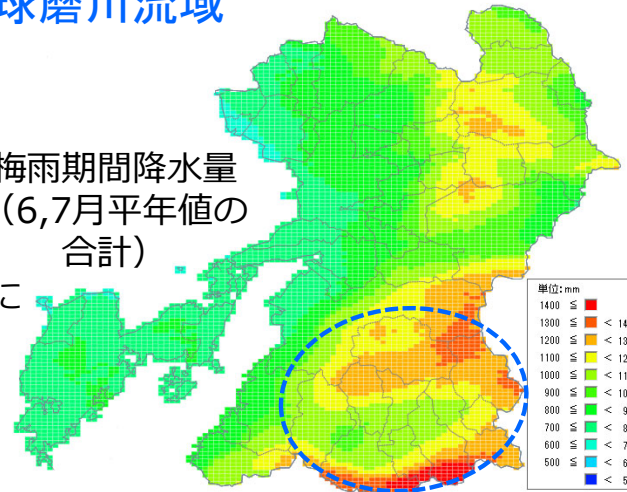
梅雨入り：平年6月4日頃 梅雨明け：平年7月19日頃

熊本の6月・7月合計の降水量の平
年値は約800ミリ。

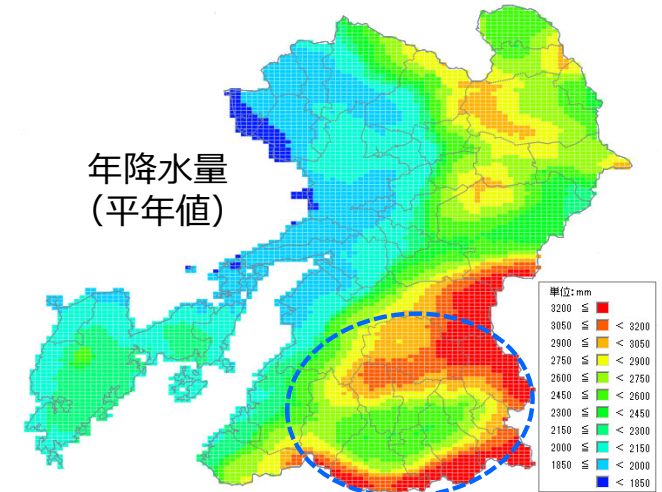
年降水量の約4割がこの時期に降る。
(年降水量約2000ミリ)

青破線円：球磨川流域

梅雨期間降水量
(6,7月平年値の
合計)



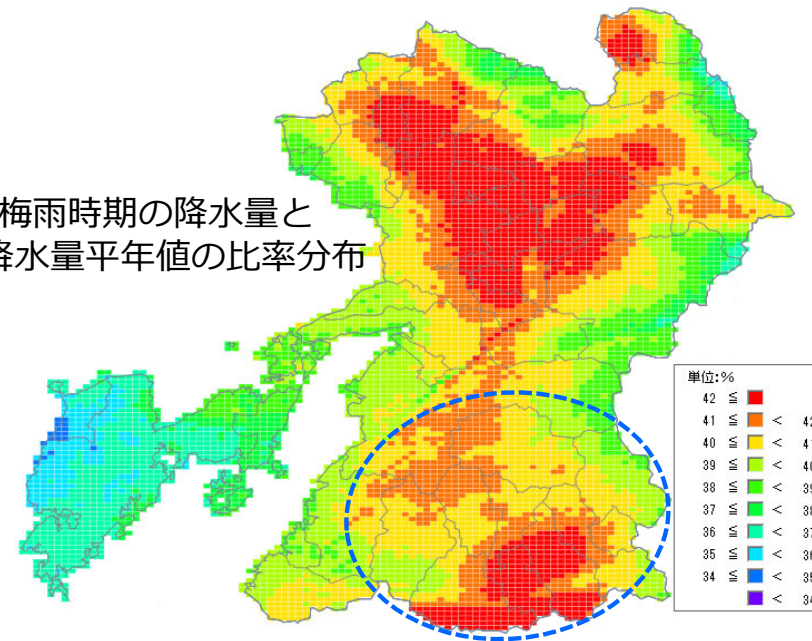
年降水量
(平年値)



平年値（1991～2020年）による、年間降水量に占める梅雨期間（6～7月）の降水量の割合

観測地点	平年降水量 (mm)		比率 %
	梅雨期間	年間	
熊本	835.3	2007.0	42
阿蘇乙姫	1250.5	3009.6	42
人吉	1051.9	2534.9	41
牛深	758.5	2109.8	36
下関	563.0	1712.3	33
福岡	548.7	1686.9	33
佐賀	693.8	1951.3	36
長崎	628.6	1894.7	33
大分	574.9	1727.0	33
宮崎	855.6	2625.5	33
鹿児島	935.1	2434.7	38

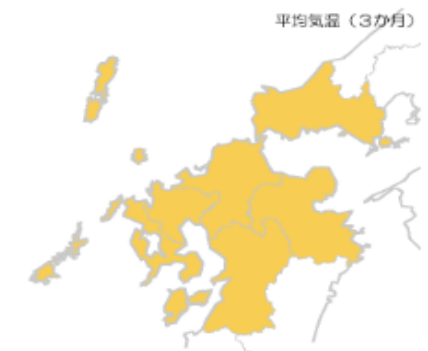

梅雨時期の降水量と
年降水量平年値の比率分布



熊本県内の年間降水量は、九州山地西側の球磨地方や阿蘇地方で特に多い。
また、年間降水量に占める梅雨期間の降水量の割合が比較的大きいのが特徴。
球磨川流域の大半は年間降水量2,500～3,000ミリ以上に対し、6～7月の梅雨期間の降水量は1,000～1,400ミリ程度で、**年間降水量の約4割以上**を占める。

九州北部地方の3か月予報（5月23日福岡管区気象台発表）

気象庁ホームページ https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=430000&term=3month

	平均気温（3か月）	降水量（3か月）
九州北部地方（山口県含む）	低20 並40 高40% 平年並か高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（%）です	<p>平均気温（3か月）</p>  <p>低い確率 (50%以上) 40% 高い確率 (50%以上) 平年並も40%</p>	<p>降水量（3か月）</p>  <p>少ない確率 (50%以上) 40% 多い確率 (50%以上) 平年並も40%</p>



熱中症 警戒アラート

発表時の予防行動

熱中症警戒アラートは、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境になると予想される日の前日夕方または当日早朝に都道府県ごと⁽¹⁾に発表されます。
発表されている日には、外出を控える、エアコンを使用する等の、熱中症の予防行動を積極的にとりましょう。

外出はできるだけ控え、暑さを避けましょう

- 熱中症を予防するためには、暑さを避けることが最も重要です。
- 服装を問わず、エアコン等を使用して部屋の温度を調整しましょう。
- 不要不急の外出はできるだけ避けましょう。

熱中症のリスクが高い方に声をかけましょう

高齢者、子ども、持病のある方、肥満の方、障害者等は熱中症になりやすい方々です。これらの熱中症のリスクが高い方には、身近な方から、夜間を含むエアコンの使用やこまめな水分補給等を行うよう、声をかけましょう。

より詳しい情報は…
 発表者： <https://www.wdgt.em.jma.go.jp/>
 気象庁： <https://www.jma.go.jp/area/know/kuratsi/nettsu.html>

向こう3か月の予報のポイント（6月～8月）

- ◆向こう3か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、平年並か高いでしょう。
- ◆向こう3か月の降水量は、ほぼ平年並の見込みです。

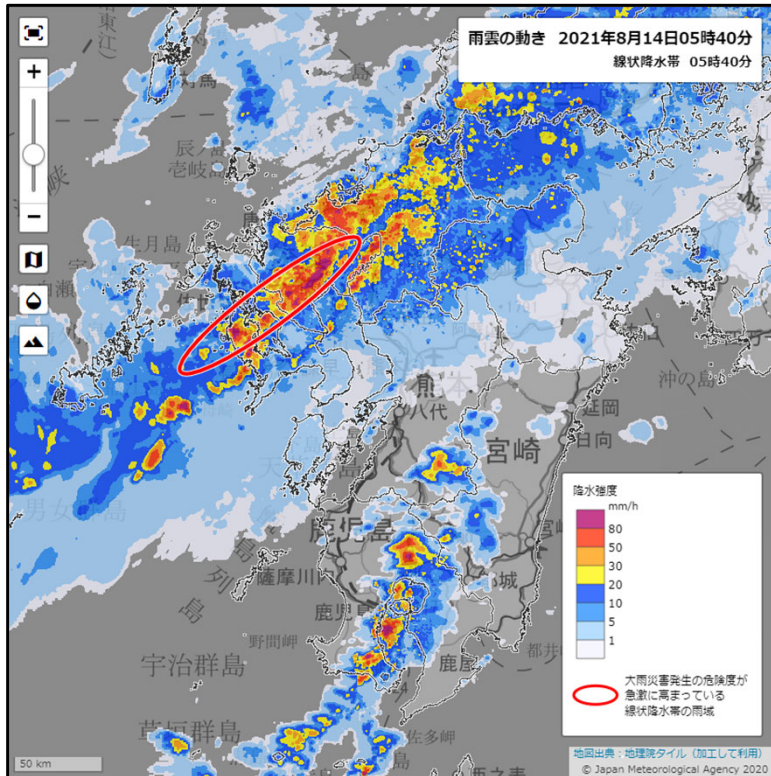
月別の天候

6月	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
7月	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
8月	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

	降水量 06月	降水量 07月	降水量 08月
九州北部地方（山口県含む）	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み

1. 今年の梅雨の見通しについて
2. 今年度の改善事項について
 - ・線状降水帯に関する情報

令和3年6月 顕著な大雨に関する気象情報



「線状降水帯」というキーワードを使った顕著な大雨への注意喚起を開始

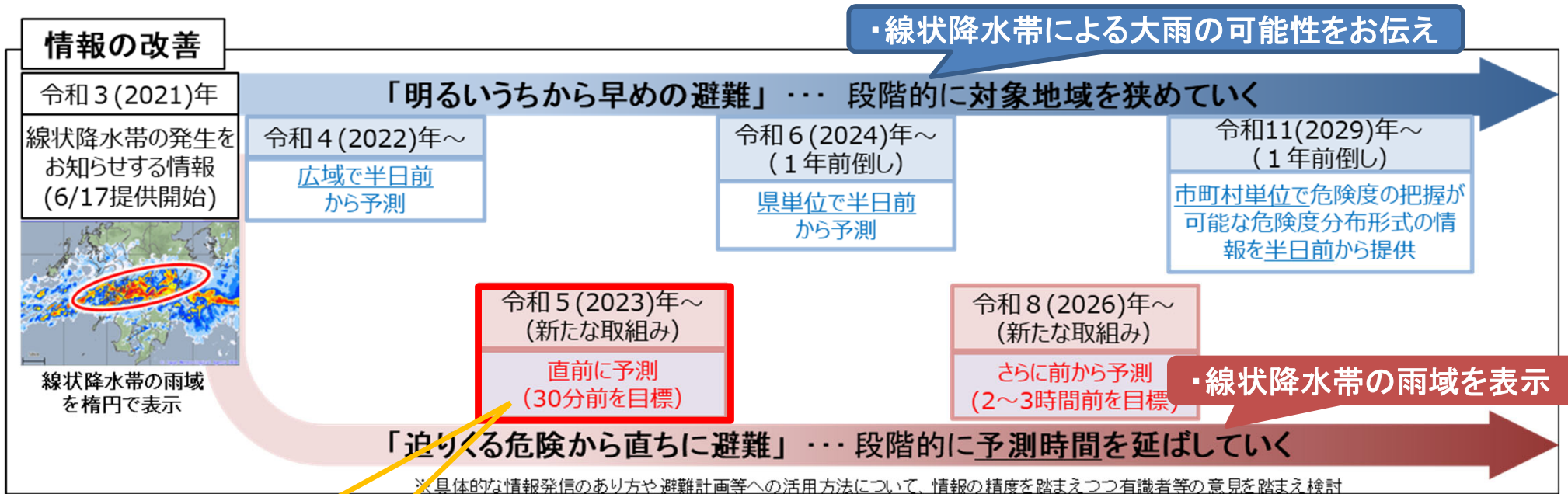
命に危険が及ぶ〇〇災害や〇〇による災害発生の危険度が急激に高まっています。

○ 大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域

令和4年6月 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ

線状降水帯による大雨発生の可能性が高い場合に、複数の県にまたがる広域を対象に、線状降水帯による大雨となる可能性を半日程度前から気象情報において呼びかける改善を実施。

〇〇地方では、〇〇にかけて線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。



「顕著な大雨に関する気象情報」は、現在は発表基準を実況で満たした場合に発表しています。

5月25日以降は、予測技術を活用し、線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えることを目指し、これまでより最大で30分程度早くお伝えします。

【変更となる情報】

1. 「雨雲の動き」と「今後の雨」（気象庁HP）

予測で基準に達した場合は地図上で大まかな場所を赤楕円（破線）で囲って表示します。

2. 発表条件を満たした場合の事例の掲載（気象庁HP）

実況、予測で発表条件を満たした場合の事例（過去1年分）を気象庁HPに掲載します。